

防災特集

# 集中豪雨に備える

今年の夏は、全国各地で「これまでに経験したことのないような大雨」に見舞われ、土石流が住宅を直撃するなど甚大な被害を被る例が数多く見られました。集中豪雨がもたらす災害に対し、どのように備え、かけがえない生命や財産を守っていくか。気象災害と災害保険、それぞれの専門家からお話を伺いました。



2011年9月20日 台風15号による大雨で水没した乗用車(名古屋市守山区)

## 日常的な情報収集を大切に 早めの対応を取りたい

### 温暖化がもたらす 局所的な豪雨

日本は、豪雨が非常に発生しやすい地理的条件にあります。昔から台風や梅雨に伴う集中豪雨があったわけですが、最近ではそれ以外の場合でも局所的な豪雨が見られるようになってきました。地球温暖化が進み、大気中に含まれる水蒸気が増えることが、原因の一つと考えられます。局所的に強い雨が降る一方で、雨が降らない傾向が強まる地域も発生します。こうした傾向は、今後より強くなっていくと考えられます。台風に関して言えば、現状では以前より大型化しているといった明確な証拠は示されていません。ただ将来的には、発生数は減少するが、強力なものが発生しやすくなる考えられています。台風の規模と雨量は直接には関係ありませんし、台風が陸に近くなり梅雨前線と連動するところで、大雨をもたらします。そのため台風の勢力が弱まり温帯低気圧に変わっても、逆に雨の勢いが強まることもあるので注意が必要です。

### 局所的豪雨に備える 「XRAIN」に注目

局所的な豪雨はしばしば線状にならぶ積乱雲群によってもたらされます。積乱雲が風の流れに沿って、次々と発生していくからです。そして積乱雲が次々と湧き上がることで極めて多量の降水をもたらされます。こうした局所的な雨雲の動きは、これまでの天気レーダーではつかむことができませんでした。

名古屋大学地球水循環研究センター教授 坪木和久さん



そこでそのような豪雨を検知することができる最新鋭のレーダー網が、国土交通省が今年度中に本運用を開始する予定の「XRAIN」です。これは、私自身も研究にたずさわった新しい気象レーダー網の愛称で、局所的な豪雨の早期発見や監視を担うものとして期待されています。従来のCバンドの気象レーダーと比べて、空間・時間ともに高い分解能の観測が可能で、従来は五十分かかっていた配信時間を二分に短縮できます。ただ観測可能なエリアが限られるため、現在のところは政令指定都市や甚大な水害、土砂災害が発生した地域での運用に限られています。現在は気象に関して、テレビやインターネットなどさまざまな形で情報が提供されています。そうした情報に気を配るとともに、「空気が湿ってほくて黒い雲が出てきた」といった自分自身の感覚も大切にしてください。そんな時は晴れていても急激に天気が変わり、豪雨になることもあります。災害から身を守るためには、危険な兆候や天気の変化に気を配り、気象情報に注意することが大切です。

名古屋大学地球水循環研究センター教授 坪木和久さん

## 日ごろからの備え いざという時の大

### 予測のつかない 災害に備えるには

東海地域は、過去に伊勢湾台風や東海豪雨などによる被害に見舞われ、比較的内陸部まで浸水被害に見舞われやすい地形的な特徴もあって、多くの方が水害に対して高い関心を持っていると感じられます。しかし近年は、温暖化の影響などにより、なかなか事前に予測のつかないような局所的な水害が起きるようになってきました。特に都市部で集中豪雨に見舞われた場合など、短時間で状況が悪化し、対応が遅れて被害を大きくしてしまうといった例も見られます。こうした自然災害に対しては、日ごろからいざという時に備えておくことで、被害を最小限に抑えるよう努めることが必要でしょう。気象情報をもとめにチェックして、早めの対策を心がける。排水溝が詰まっていないか、屋根瓦などがずれていないかなどを確認しておく。地下室などに保管してある貴重品などを階上に移し替えておく。自動車を立体駐車場や高台に移動させておく。そうした備えを日ごろから心がけておくことが、被害の軽減に役立ちます。

日本損害保険協会中部支部委員会委員長 重田昇三さん

日本損害保険協会中部支部委員会委員長 (日本興亜損害保険 常務執行役員 中部本部副本部長)

### 保険代 補償内

補償する保険料は高く、類以上の損害を受けるようになります。自然災害に関する損害は、類によって異なるので、損

### 「いざという時のための 経済的な備え」

そうした備えを心がけていても、防げることができない自然災害に対する経済的な備えとして、損害保険への注目も高まっています。風水害に備える

## 日本損害保険協会の活動 地域の防災意識を高める 「ぼうさい探検隊」

